

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	甲状腺癌の治療、予後、効果予測因子に関する観察研究
	研究目的	甲状腺癌などの内分泌腫瘍に対し、当科では手術治療、薬物治療、放射線ヨード内容療法、分子標的治療薬などの薬物療法を行っている。そこで、これらの治療後の無再発生存期間や再発率、予後の調査を行い、効果予測因子や治療効果について検討する。
	研究対象者	2008年1月1日から2022年12月31日に当院で治療を受けた甲状腺癌などの内分泌腫瘍の患者さんのうち、当センターの医学研究に関する包括的同意が得られている方。
	研究期間	西暦 2021年 10月 11日 ~ 西暦 2023年 3月 31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	乳腺内分泌外科 村山大輔
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	乳腺内分泌外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし